

特別展

伊達成実

だて しげざね

南相馬に来たる

北の大地に共存する相馬と伊達



平成30年

6/30 | 土 |

▶ 8/19 | 日 |

【開館時間】 午前9時～午後4時45分
(最終入館は午後4時まで)

【休館日】 毎週月曜日
(7月16日(祝)・30日(月)は開館)

【観覧料】 一般 300円(250円)
高校生 200円(150円)
小中学生 100円(80円)

()は20名以上の団体割引料金です
南相馬市・飯館村に居住・通学する小中高生は無料
障がい者の方は無料(手帳の提示が必要)

南相馬市博物館

〒975-0051 福島県南相馬市原町区牛来字出口194番地

TEL 0244-23-6421 FAX 0244-24-6933

URL <http://www.city.minamisoma.lg.jp/index.cfm/24.html>

『黒漆五枚胴具足(伊達成実所用)』伊達市教育委員会蔵
『奥州相馬氏野馬追図屏風』伊達市教育委員会蔵



伊達成実、来たる。

宿敵・ライバルとも称される相馬と伊達ですが、相馬が誇る伝統行事・相馬野馬追の時期に、伊達成実が南相馬にやってきます。

伊達成実（1568～1646）は、初代仙台藩主・伊達政宗の従弟で、政宗の片腕として活躍した有名な武将です。江戸時代には仙台藩領内の亶理要害（宮城県亶理郡亶理町）の主となり、中村藩領と隣接する亶理郡・伊具郡・宇多郡を治め亶理伊達氏の初代となりました。

亶理伊達氏は明治維新後、家臣・領民と共に胆振国有珠郡（北海道）に移住・開拓し、現在の北海道伊達市の礎を築きました。近年、伊達市で当地方の伝統行事・相馬野馬追を描いた「奥州相馬氏野馬追図屏風」（伊達市教育委員会蔵）が発見されたり、伊達成実所用の甲冑の補修を本市の甲冑師が手掛けるなど、伊達市との地域を越えた交流が始まっています。

本展示では、南相馬市で補修された伊達成実所用の「黒漆五枚胴具足」のほか、亶理伊達氏伝来の太刀「宇佐美長光」などを紹介します。



黒漆五枚胴具足（伊達成実所用）
伊達市教育委員会蔵



太刀 宇佐美長光
国認定重要美術品 伊達市教育委員会蔵

伊達に息づく“相馬”

伊達市には、野馬追を描いた「奥州相馬氏野馬追図屏風」が残っていたり、当地方から分霊して建立された「相馬神社」や「太田・小高神社」などがあります。亶理伊達氏が礎を築いた町に相馬が息づく、その不思議な関係も紹介します。



相馬神社
北海道伊達市大町



奥州相馬氏野馬追図屏風（野馬追図）
伊達市教育委員会蔵